

新製品紹介

油浸紙絶縁ケーブル用端末キャップ

現在、電力ケーブルの主流は施工性の良いCVケーブルとなっているが、以前は紙絶縁（油浸紙絶縁）ケーブルが使用されていた。これまで、布設されている紙絶縁ケーブルを撤去する際には、切断面から油が染み出し地中に滴下しないようケーブル切断部を半田により鉛工仕上げする必要があった。しかし、この工法は作業員のスキルと火気使用および長時間の作業を要するため、掘削現場における短時間施工、マンホール等における火気レス等には適しておらず、容易で確実な漏油防止ができる処理方法の現場ニーズが高まり、鉛工に代わるスキルレス・火気レスで短時間施工が可能なケーブル端末処理機材が望まれていた。そこで、今回、下記のような特徴を持つ施工性に優れた簡易端末キャップを開発し、販売を開始した（特許出願中）。

特徴

1. 施工の省力化

ケーブルへの取り付けは、常温収縮チューブ構造を採用することにより、従来のように火気類を使用すること無く、作業にも熟練度を要しないため、施工時間の大幅な短縮（鉛工作業時間比：約1/5）をはかった。

2. 多種類のケーブルサイズへの適用

端末キャップ内径とケーブル外径の隙間をスポンジ材で埋めることにより、多くのケーブルサイズへの適用を可能にし、種類を最小限にした。

3. 油漏れ防止構造

端末キャップからの漏油を確実に防止するため、端末キャップ内はシリコン樹脂を充填し、油を密閉する構造とした。

（エネルギー・配電事業部 開発部 吉富）



図1 油浸紙絶縁ケーブル用端末キャップキット

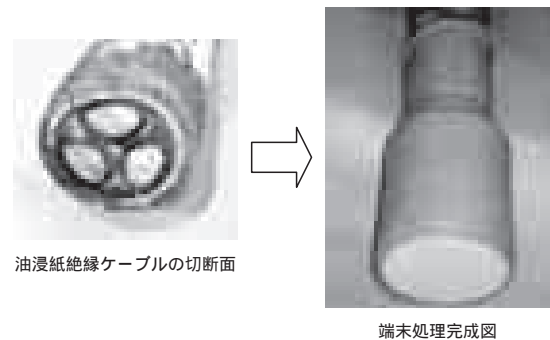


図2 取り付け施工例

表1 適用サイズ

| 種類 | ケーブル外径 | 対象ケーブル (mm ²) (例) | | | |
|----|------------|-------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| | | 6kV PTA | 6kV PL | 22kV SLTA | 22kV SL |
| A | 33 ~ 42mm | 14 ~ 22 | 14 ~ 60 | - | - |
| B | 43 ~ 58mm | 38 ~ 150 | 100 ~ 200 | - | - |
| C | 59 ~ 68mm | 200 ~ 250 | 250 ~ 325 | - | - |
| D | 69 ~ 87mm | 325 | - | 60 ~ 100 | 60 ~ 200 |
| E | 88 ~ 109mm | - | - | 150 ~ 325 | 250 ~ 325 |

【お問い合わせ】

エネルギー・配電事業部 配電機器部
 TEL : 03-5606-1237 FAX : 03-5606-1541
 E-mail : haiden-info@fujikura.co.jp